

食生活改善へ、15人が推進員に

町は、生涯にわたる食育の推進に向け、食を通じた健康づくりの担い手として活動する「食生活改善推進員」を養成する保健栄養教室を、2月まで全6回の日程で開催しました。受講した15人が講義や調理実習を通じて生活の改善や公衆衛生に関する知識を身に付けたほか、減塩を意識した調理について学び、推進員として活動する決意を新たにしました。

7年ぶりの開催となった教室は、昨年11月に開講。町学習交流施設「エピカ」を会場に、調理実習に加えて運動実践などにも取り組みました。2月22日は最終回となり、太りにくい体を作るための目安として、食事を取る時間帯や飲酒量、1日に必要なカロリー量などを

確認しました。修了式では、15人が青木町長から修了証を受け取りました。高橋輝子さん(17区)は「家庭での食事で塩分量を減らすことが大切で、薄味でも慣れると十分だと感じた。今後は推進員として、講座で学んだことを地域に広めていきたい」と語りました。

7年ぶりに保健栄養教室を開催



調理実習で、脂質の少ない豆腐や鶏むね肉を使い、カロリーを抑えた「トマト麻婆豆腐」を作る受講者=2月22日



全6回の講座を終え、青木町長から修了証を受け取る阿部真由美さん(1区)=2月22日

春の藤原まつり「源義経公東下り行列」

義経公役に寺田心さん(俳優)



義経公役の寺田心さん

平泉観光協会(千葉力男会長)は3月5日、春の藤原まつり(5月1〜5日、協会主催)の「源義経公東下り行列」(3日)の源義経公役を、俳優の寺田心さん(15)にジョビィキッズプロダクション所属が務めると発表しました。

寺田さんは愛知県出身。テレビドラマや映画、舞台などで幅広く活躍しています。

義経公の妻「北の方」役や藤原秀衡公役など、他の主要役者は、4月中旬ごろに発表される見込みです。

■藤原まつりに関する問い合わせ先
平泉観光協会 046-21110

発掘最前線 224

平泉を掘る

中尊寺の発掘調査②

清衡期の遺物

中尊寺跡第40・49次調査

中尊寺跡第40次調査は、中尊寺支院の金剛院で平成3年に行われた発掘調査です。この調査では、12世紀と江戸時代に盛られた整地層の下から、他にはあまり見ない形の「かわらけ」が出土しました。写真1。同じ層位から出土した五花鏡の破片。写真2。中国産白磁壺の破片。写真3。12世紀初め頃の清衡時代のものと考えられます。

第49次調査は、同じく支院の真珠院で平成7年に行われた発掘調査です。この調査で見つかったかわらけは、40次調査のものと同様の特徴があることから、清衡期のものと考えられます。また、「柱状高台」と呼ばれる土器が多く出土しています。写真4。

清衡期の遺物は平泉でも珍しいケロ。



©2013岩手県 ケロ平 designed by センウエンルー



写真1 40次調査で出土した「かわらけ」ろくろで作られていて、椀形であることが特徴です。京都の影響を受けた「手づくねかわらけ」は見つかっていません。



写真2 五花鏡の破片
5枚の花びらを持つ花のような形をしていることから「五花鏡」と呼ばれる形の鏡です。12世紀初め頃のものとみられます。模様のない面を磨いて使っていました。

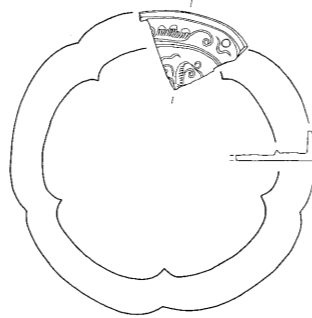


写真3 中国産白磁壺
中国産陶磁器が多く出土する九州・太宰府出土の資料を基に行われている研究から、11世紀後半〜12世紀前半のものと考えられます。



写真4 49次出土のかわらけ(手前)と柱状高台(奥)
柱状高台は、器を乗せる台として使われていたと考えられます。底から柱のように伸びた高台が特徴で、清衡期によくみられる土器の一つです。